データ項目ID		データ項目	グループ			データ型	桁数	コード	繰り返し	データ出力条件	項目定義	項目説明	実装類型
			名称	主キー	外部キー								
015	01196	フラグ内容コード	フラグマスタ管理	○	○	X	3	999		必須	フラグコードの内容を表すコード	各自治体固有のコード利用を想定	◎
015	01603	最新フラグ	フラグマスタ管理			X	1			必須	当該データが最新かどうかを現すフラグ（0：最新ではない、1：最新である）		◎
015	01197	フラグ開始年月日	フラグマスタ管理			DATE	10			任意	フラグを登録した年月日		○
015	01198	フラグ終了年月日	フラグマスタ管理			DATE	10			任意	フラグの使用が終了する年月日		○
015	01195	フラグ名称	フラグマスタ管理			N	20			必須	フラグの名称		◎
015	01199	フラグ設定担当者コード	フラグマスタ管理			X	10			任意	フラグを設定した担当者コード	各自治体固有の番号体系で管理する	◎
015	01604	削除フラグ	フラグマスタ管理			X	1			必須	当該データが削除されたかどうかを現すフラグ（0：未削除、1：削除済）		◎
015	01200	操作者ID	フラグマスタ管理			X	10			必須	操作者を一意に識別するコード		◎
015	01201	操作年月日	フラグマスタ管理			DATE	10			必須	操作を行った年月日		◎
015	01202	操作時刻	フラグマスタ管理			TIME	8			必須	操作を行った時刻		◎
015	01203	市区町村コード	納付書発行情報	○	○	X	6			必須	市区町村を一意に識別するコード（指定都市においては区までを特定）	総務省「全国地方公共団体コード」に従って6桁のコード値を設定すること	◎
015	01675	合併前_市区町村コード	納付書発行情報	○	○	X	6			必須	合併前の市区町村コード	・総務省「全国地方公共団体コード」に従って6桁のコード値を設定すること ・合併前の市区町村コードがない場合は、市区町村コードと同値を設定すること	○
015	01205	賦課年度	納付書発行情報	○	○	YEAR	4			必須	納税義務者に対し納めなければならない税額を決定及び通知した年度		◎
015	01206	課税年度	納付書発行情報	○	○	YEAR	4			必須	・課税の事由となる根拠の発生した年度で、本来課税を行うべき年度 ・法人住民税の場合、法人の確定申告、中間申告等に係る申告期限（申告期限が延長されている法人の場合は延長前の申告期限）が属する年度	法人の場合で課税年度を管理していない場合は、賦課年度と同じ値を設定すること	◎
015	01207	通知書番号	納付書発行情報	○	○	X	20			必須	・通知書を特定可能な番号 ・軽自動車税においては徴収単位を一意に特定可能な番号 ・法人住民税の場合、法人を一意に特定可能な番号		◎
015	01208	業務詳細（税目）コード	納付書発行情報	○	○	X	2	016-008		必須	対象となる業務の詳細（税目）を示すコード		◎
015	01209	特別徴収義務者指定番号	納付書発行情報	○	○	X	12			必須	事業所を一意に識別する番号	個人住民税（給与特別徴収）でない場合は、0を設定すること	◎
015	01210	期別	納付書発行情報	○	○	X	2	016-007		必須	徴収の期を表す内容		◎
015	01605	申告履歴番号	納付書発行情報	○	○	9	8			必須	事業年度内の課税申告（申告書、見込納付）を時系列に付番	・古いものから昇順でカウントアップ ・法人住民税でない場合は、0を設定すること	◎
015	01606	事業年度番号	納付書発行情報	○	○	9	8			必須	グループ間の紐付けに用いる番号	・設定値はアプリケーションの規定によることとする（連番、事業年度開始日 等） ・法人住民税でない場合は、0を設定すること	◎
015	01211	発行システム区分	納付書発行情報	○		X	2	038		必須	納付書が発行される発行元システムを判断するための区分		◎
015	01212	発行回数	納付書発行情報	○		X	3			必須	同一納付書の発行回数		◎